「愛知県歯科口腔保健基本計画」の推進に関する平成27年度取組状況

「あいち歯と口の健康づくり八〇二〇推進条例」及び「歯科口腔保健基本計画」に基づき、 乳幼児から高齢期までの生涯を通じた歯科疾患の予防及び歯の喪失予防、口腔機能の維持 向上に関する施策の推進と、障害者(児)等が歯科受診しやすい環境整備を図った。

基本方針① 口腔の健康の保持・増進に関する健康格差の縮小

基本方針②~⑤の推進により、各指標の改善を図ることで健康格差の縮小を目指した。

基本方針② 歯科疾患の予防

基本方針③ 口腔機能の維持・向上

【う蝕対策に関する事業】

フッ化物洗口を始めとしたフッ化物応用を推進するとともに、乳歯から永久歯のう蝕予 防へつながる事業構築のための支援を実施した。

(1)乳歯う蝕対策支援事業 〈各保健所〉

効果的な乳歯う蝕対策を推進するため、母子健康診査マニュアルはじめ市町村におけ る乳幼児歯科健診事業の評価・分析等による支援を実施。

(2) フッ化物洗口評価支援事業 〈各保健所〉

フッ化物洗口実施施設が円滑に継続実施できるよう、精度管理 及び事業評価の支援を実施。

▽ 愛知県内フッ化物洗口実施施設数(名古屋市、中核市含む) 平成27年3月末現在

	幼稚園・保育所	小学校	中学校	計
実施施設数	694	344	10	1, 048
実施人数	27, 714	109, 741	4, 086	141, 541



(3) **永久歯う蝕対策支援研修会** 〈各保健所 年1回開催〉

乳歯及び永久歯の健全な育成を図るため、幼稚園教諭、保育士、養護教諭、市町村保 健関係者等を対象として研修会を開催。

(4) 第一大臼歯保護育成の推進 〈健康対策課・各保健所〉

永久歯う蝕の減少を図るため、リーフレットを活用し、8020達成の要の歯である 第一大臼歯の保護育成を推進するための啓発を実施。

①「こんにちは!6歳臼歯」

51,000 部

配布対象:年長児または小学1年生とその保護者

②「みんなで守ろう!ぼくの・わたしの・永久歯」43,000部

配布対象:フッ化物洗口実施施設の児童、保護者、関係者等



【歯周病対策に関する事業】

(1) 若い世代からの口腔ケア推進事業 〈愛知県歯科医師会委託〉

成人期の歯周疾患の改善にむけ、若い世代に働きかけ、生涯良好な口腔環境の維持につながるための事業を実施。

① 若い世代への歯科に関連する生活習慣の調査及び歯科検診の実施

大学生を対象とした歯科検診を実施し、口腔環境状況を把握するとともに歯科に関連する生活習慣状況のアンケートを実施した。

対象施設	実施回数	協力者数	
愛知医療学院短期大学	1 回	73名	(男性 25、女性 48)
修文大学短期大学部	4 回	435名	(男性 27、女性 408)
日本福祉大学	4 回	518名	(男性 225、女性 293)
合 計	9 回	1,026名	(男性 277、女性 749)

〈調査の結果〉

	お口の健康状態	定期歯科受診が	定期的に歯科受	歯科検診状況
	に関心がある	必要と思う	診している	(歯肉炎がある)
愛知医療学院短期大学	61. 7%	73. 6%	38. 3%	17. 6%
修文大学短期大学部	73. 2%	73. 8%	29. 4%	14. 1%
日本福祉大学	76. 2%	76. 9%	33. 2%	12. 4%

調査の結果から、歯・口の健康への関心は比較的高く、定期的な歯科受診の必要性を認めている ものの、実際に歯科受診している者の割合は低い状況であった。また歯肉炎については、1~2割の 者に認められた。

② 若い世代への出前講座の実施

各大学、短期大学の学生に対し、若いころからの口腔ケアの重要性を啓発するため、調査結果を踏ま え歯科医師(愛知県歯科医師会地域保健部I)による講義を実施した。

対象施設	実施日	受講者数
愛知医療学院短期大学	平成 28 年 1 月 21 日	80名
修文大学短期大学部	平成 28 年 1 月 28 日	200名
日本福祉大学	平成 28 年 1 月 28 日	150名
合 計	3 回	430名



③ 啓発資料の作成

今後、生活習慣・歯科検診の調査結果を踏まえ、若い世代を対象とした 魅力的な啓発媒体(リーフレット)を作成し、県内の大学及び短大の学生に配布する予定である。

(2) 生活習慣病対策機能連携推進事業 〈愛知県歯科医師会委託〉

糖尿病と歯周病との医科歯科連携体制に携わる歯科医師のスキルアップを図るための研修会を開催するとともに、歯周病と糖尿病の関連について県民への普及啓発を実施した。

①「平成27年度歯周病と糖尿病との医科歯科連携講演会

~歯周病の全身への影響 糖尿病との相互関係について~」の開催

- · 日時 平成27年9月19日 (土)
- ・場所 あいち健康プラザ健康科学館ヘルスサイエンスシアター
- ·参加者数 181名
- ・講演「ロの中の健康と糖尿病との密な関係」 公立西知多総合病院 内分泌・代謝内科 部長 石川敦子

講演「長生きを享受するための口腔の重要性〜歯周病・糖尿病・認知症の負の連鎖を断つ〜」 国立長寿医療研究センター 口腔疾患研究部 部長 松下健二

② 生活習慣病指導医スキルアップ研修会の実施

- · 日時 平成28年1月24日(日)
- ・場所 愛知県歯科医師会館 歯~とぴあホール
- · 受講者数 121名
- ・講演「糖尿病の過去・現在・未来」 「歯周治療からつながる生活習慣病予防 歯周治療で避けては通れない歯周外科治療」 「歯周病・糖尿病・アルツハイマー病の負のスパイラルを断ち切る」

③ 歯周病と糖尿病との関係に関する啓発資料作成

- ・リーフレット「歯周病と診断された方へ~あなたの歯は健康ですか?~」
- ・歯周病と糖尿病に医科歯科連携に関する取組の事例集

(3) 歯周病対策機能連携検討会議

県の歯周病対策の方向性と方策を協議し、関係機関・団体による機能連携の強化を図るための会議を開催。

日 時:平成28年1月19日(火)

内 容:歯周病と糖尿病の医療連携体制の推進について

(4) 歯周病対策ネットワーク推進会議 〈各保健所 年1回以上〉

地域の歯周病対策の情報、課題を関係機関・団体で共有し、具体的な検討を行うため 保健所で会議を開催。

(5) 歯周病対策普及講演会 〈各保健所 年1回開催〉

地域の歯周病対策の推進と歯科保健医療の環境整備を図るため、歯周病の予防・治療 に携わる関係者を対象とした講演会を開催。

(6) 普及啓発の推進 〈健康対策課・各保健所〉

「歯周疾患の予防」に関するリーフレットを作成、配布し、市町村、職域及び学校保健活動等において啓発を実施。

- ①「女性に知ってほしい 歯周病・たばこ」の作成 64,000 部
- ②【新】「働く世代の歯と口の健康管理」の作成 51,000 部
- ③「歯の健康づくり得点チェックシート」の作成 450 冊

基本方針(4) 定期受診困難者の歯科口腔保健の推進

(1) 障害者(児) 歯科口腔保健推進事業 〈愛知県歯科医師会委託〉

歯科診療所で、軽度の障害者(児)が定期的な歯科検診・保健指導を受けられるように、障害の状況に応じた「口腔ケアサポートマニュアル」(平成27年度作成)を活用し、歯科医療関係者が口腔ケアサポートに取り組める体制の整備を図った。

① 研修会の開催

第1回	平成27年 9月 3日(木) 受講者88名
第2回	平成27年11月12日(木) 受講者42名
その他	希望郡市区歯科医師会において随時研修会予定

② パネル展示

- ・日時 平成28年2月20日(土)、21日(日)
- ・場所 名古屋市中小企業振興会館(吹上ホール)



(2) 要介護者口腔ケアサービス連携推進事業〈各保健所 年1回開催〉

地域包括支援センターや介護施設関係者等、要介護者の口腔ケアに携わる関係者を対象とした「口腔ケア研修会」を開催するとともに、保健師、ケアマネージャー等関係者と調整しながら、要介護者及びその家族を対象として、訪問による助言及び支援を実施した。

基本方針⑤ 社会環境の整備に関する事業

(1) 歯科口腔保健対策部会 〈健康対策課〉

歯科疾患を生活習慣病の一つとしてとらえ、生活習慣の改善、8020達成に向けての歯科保健対策の検討と評価を行うため開催。

日時:平成27年1月26日(火)

内容:健康日本21あいち新計画(歯科)及び愛知県歯科口腔保健基本計画の推進について

(2) 8020運動推進連絡協議会 〈各保健所 年2回開催〉

地域における歯科保健の情報、課題を関係機関・団体で共有し、歯科保健対策の推進に向けた具体的な検討事項を協議するため、各保健所で協議会を開催した。

(3) 地域歯科保健推進研修会 〈各保健所 年1回以上開催〉

保健所管内の歯科保健関係者を対象として、資質の向上及び連携を図るための研修会を開催した。

(4) 歯科保健関係職員研修 〈健康対策課〉

歯科保健関係職員を対象として、資質の向上及び業務の連絡調整を図るための研修会を開催。(公社)愛知県歯科衛生士会共催。

日 時:平成28年1月14日(木)開催 (愛知県三の丸庁舎大会議室)

対象者:市町村・保健所行政歯科保健関係者、(公社)歯科衛生士会会員等 受講者82人

講演:「フッ化物に関する疑問・質問にお答えします!」

「地域包括ケアシステムに歯科衛生士はどう関わる!?」